

金子副学長が再任

8月6日開催の理事会で、専修大学副学長に金子洋之文学部教授が再任された。

3学部長も

任期満了に伴う法学部、商学部、ネットワーク情報学部の学部長選が各1日から3年間(ただし学部教授会で行われた。

専修大学学長と同じ。任期満了に伴う法学部、商学部、ネットワーク情報学部の学部長選が各1日から3年間(ただし学部教授会で行われた。法学部長は森川幸一学部長が、商学部長は渡辺達朗学部長が、ネットワーク情報学部長には松永賢二学部長が、それぞれ再任された。任期はいずれも9月1日から2年間。

ASEANでの人づくり議論

商学研究科第16回共同公開講座

「中小企業のASEAN展開〜人材活用のチャンスとリスク」をテーマに、大学院商学研究科と東京信用保証協会の第16回公開講座が8月3日、神田キャンパスで開催された。

法医学者、研究者としての歩みを語った池本氏



OBの池本・日獣大名譽学長 黒門から大きく飛躍を

専修大学創立140周年を記念して法学部が2015年9月から行ってきた140回連続講演会の最終回が7月19日、神田キャンパスで開かれた。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

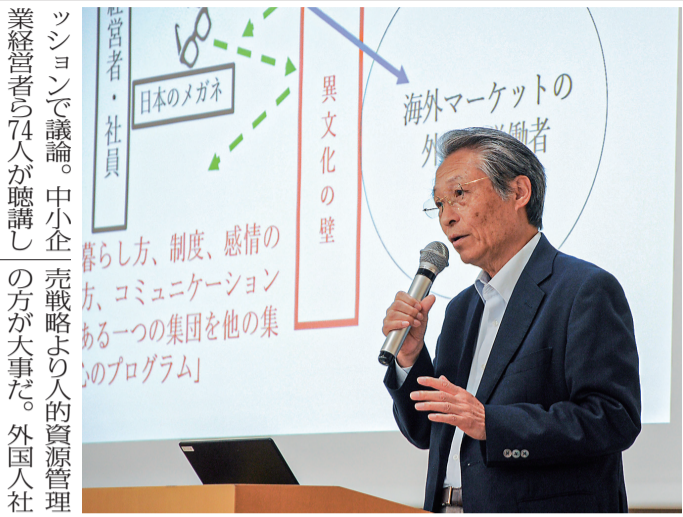
「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

法学部140回連続講演会フィナーレ



ASEANでの人材活用について議論した



「各国のビジネス文化を理解することが重要」と語る上田教授

「ASEANに 진출している経営者2人が事例を紹介。ベトナムに精密板金加工の現地子会社を設立した田中公典さん(平10商)は「日本国内の活動だけで経営を維持していくのは困難な時代。日本の発想を転換していくことが重要だ」と語った。

上田教授は「日本人経営者が現地社員の夢を聞いて、実現に向けて力を尽くすところに双方の信頼が生まれる。人づくりのチャンスがそこにある」とまとめた。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「各国のビジネス文化を理解することが重要」と語る上田教授

「ASEANに 진출している経営者2人が事例を紹介。ベトナムに精密板金加工の現地子会社を設立した田中公典さん(平10商)は「日本国内の活動だけで経営を維持していくのは困難な時代。日本の発想を転換していくことが重要だ」と語った。

上田教授は「日本人経営者が現地社員の夢を聞いて、実現に向けて力を尽くすところに双方の信頼が生まれる。人づくりのチャンスがそこにある」とまとめた。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。

「大学の創立140周年に向けて、140回の連続講演会をやりたいが、どう思う？」白藤博行前法学部長から、こう相談を受けた時は、一瞬、白藤先生お得意のジョークかと思いました。



文・大谷教授著「日清戦争」

韓国・中国で翻訳本出版 文学部歴史学科の大谷正教ある現在だからこそ、相互理解を進めるの助になれば」と大谷教授は話す。

戦いなどを当時の資料を駆使して詳細に解き明かした。まの執筆などの依頼が相次ぎ、新聞などのメディアが戦時中の出版に至った。

「140回」を無事に終えて

法学部長 森川幸一

2015年9月25日の第1回から数えて140回目の講演会が7月19日に開催され、この4年にも及ぶ壮大な企画は無事終了しました。この間、本学法学部・法科大学院所属教員、法学部退職教員、卒業生および現在在社で活躍の方々が多岐にわたる分野での日ごろの研究成果を、可能な限り平易な表現でお話しただきました。そのテーマは、中心を占める法学・政治学に関わるものにとどまらず、歴史学、言語学、教育学、芸術学、ジャーナリズム学、自然科学、スポーツ科学と、実に多様な分野に及んでいます。

専修人の新しい本

大学経営の構造と作用 小藤康夫著



今日の私立大学は、政府から大胆な介入を受けている。入学定員超過大京23区私立大学の定員増規制が例として挙げられる。そのほかにも、大学改革の新たな取り組みを条件づけた授業料無償化も同様である。こうした私立大学が抱える諸問題を理論的に整理すると同時に、将来の方向性を明らかにしたのが本書である。

計報



8月19日、90歳で死去。1991年から99年まで在職。専門は商業教育。